

夜間中学設置検討結果の報告依頼について

令和4年1月27日
義務教育課

趣旨

夜間中学設置に関し、沖縄県教育委員会夜間学級等設置検討委員会からの報告を踏まえ、令和2年1月の市町村教育長研修会及び令和2年2月7日付け教義第1358号にて、各市町村へ検討依頼してから2年が経過致しました。しかしながら、昨今の新型コロナウイルスやGIGAスクールへの対応もあり、具体的な検討が進んでいる那覇市以外は、現状、ほとんどの市町村において、検討が遅れている状況となっております。

「夜間中学設置」についても、ぜひ早期検討して頂きたいと思っております。

夜間中学は、戦中戦後混乱期における義務教育未修了者や外国籍の方のみならず、不登校等により十分に義務教育を受けられなかった方も対象となります。不登校児童生徒は、年々増加を続けており、全国的に憂慮すべき状況となっておりますが、夜間中学の設置形態や運用を工夫することで、その受け皿としての活用や、学び直しにつながるのではないかと期待されています。

また、夜間中学を設置することは、そこでの学びをとおして、自尊感情や自己有用感が高まり、社会的自立につながる「学びの場」としての役割だけでなく、そこで勤務する教員の「学びの場」としての役割も期待できるということです。

実際に、県外の夜間中学の視察を通して見えたのは、教師は、高齢者、外国人、不登校生と多様な生徒を相手に、大変苦勞されながら、特別な教育課程を編成し、一人一人に合った授業づくりを実践されている姿でした。反面、「一文字覚えたら世界が広がる」と目を輝かせて学習する生徒の姿は、まさに「個別最適な学び」が実現した姿であり、ここで培った授業づくりの力は通常学校へ戻った際の授業づくりの糧となるであろうと感じました。

現在、全国に36校の夜間中学が設置されており、次年度4月には、新たに4校の開校が予定されています。今後も、全国的に増加していく傾向にあり、沖縄県においても、設置の検討を行っていかねばならないと考えています。

県教育委員会としては、市町村での検討結果を踏まえて、設置に向けての方針を検討することとしているため、明確な時期は未定ですが、次年度の早い段階で、「夜間中学設置検討結果の報告」について、アンケート形式でご依頼する予定としております。関係機関や有識者等を加えた、正式な設置検討委員会でも構いませんので、回答する際には、各市町村教育長名による、ご回答をいただく予定としておりますので、ご承知おき下さい。

夜間中学は、「時代を映す鏡」と言われ、それぞれの時代における夜間中学が検討されて来ました。今回の検討に際しても地域の実情やニーズを十分考慮した上で夜間中学の設置検討をよろしくお願い致します。

教 義 第 1 3 5 8 号
令 和 2 年 2 月 7 日

市町村教育委員会教育長 殿
各 教 育 事 務 所 長 殿

沖縄県教育委員会
教育長 平敷 昭人
(公印省略)

市町村教育委員会における公立夜間中学の設置検討について（依頼）

平素から本県学校教育の充実に御尽力いただき感謝申し上げます。

さて、県では、公立中学校夜間学級の設置に係る現状及び課題、今後の方向性等必要な事項について協議するため、平成29年度に「沖縄県教育委員会公立中学校夜間学級等設置検討委員会」を立ち上げました。平成30年度に実施したニーズ調査では、通学希望者で夜間中学の対象となる人数や、通学可能距離、通える時間帯及び夜間中学に通わせたい人数等を把握しました。

本設置検討委員会においては、本年度で最終となることから、この度ニーズ調査の結果や、これまでの協議内容等を踏まえた夜間中学設置主体案をまとめ、今後の方向性を示したところです。

については、市町村教育委員会において、下記のとおり御対応をお願いいたします。

教育事務所においては本件について御承知おきください。

なお、県としましては、今後、夜間中学の設置検討の状況把握等のため、市町村教育委員会を対象に、各教育事務所において「夜間中学情報交換会」の開催を予定しております。

記

1 依頼事項

- 市町村夜間中学設置検討委員会（仮称）の設置
- 市町村立夜間中学設置についての検討

2 送付資料

- 沖縄県夜間中学設置に係るニーズ調査報告書（概要版）
- 夜間中学設置主体案
- 夜間中学の設置・充実に向けた取組の一層の推進について（文部科学省）

※沖縄県夜間中学設置に係るニーズ調査報告書の詳細版、概要版及び夜間中学設置主体案については、沖縄県教育委員会ホームページに掲載しております。

〈この件の担当〉
沖縄県教育庁義務教育課
指導主事 松田 庄一郎
電 話：098-866-2741
F A X：098-866-2750